

8月30日(土) 課題研究

課題研究2

9:30~12:10

4号館421教室

[子ども人口減少期における教員養成及び教育学部問題]

かわるカリキュラムと教員養成への期待

司会 森田 道雄(福島大学)

小野田正利(大阪大学)

- (1) 学校教育の課題と教員養成への期待 —教育課程審議会の論議から—
無藤 隆(お茶の水女子大学)
- (2) 教員の資質向上策と教員養成への期待 —教育行政の立場から—
大木 高仁(文部省教育助成局)
- (3) これからの教員養成への提言 —比較研究の立場から—
葉養 正明(東京学芸大学)

〈趣旨〉

中央教育審議会による21世紀を展望した学校教育の提言、教育課程審議会による学校5日制導入のカリキュラム検討作業、教育職員養成審議会による免許基準改訂論議など、学校教育と教員養成に大きな変化をもたらす一連の施策が進んでいます。子ども人口の減少や行財政改革などの「外圧」的要因以上に、教員養成論が、取り組まなければならないのは、これらの動向を踏まえた教員養成の質の向上、高度化をどうはかっていくかであり、それにふさわしい教員養成制度をどう構想するかです。今後の教員養成に求められていくのは、多様なニーズと変化要因に対応する「柔軟性」、質の向上を確保できる「高度化」、実践的課題に取り組む「臨床性」、教員の生涯を通じて職能形成をはかる「ライフサイクル」、そして、大学(教員養成学部・一般学部)・附属学校・センター・教育行政・地域社会などが共同して教員養成と職能形成に役割を果たす「ネットワーク化」ではないかと思われまます。

昨年に引き続き本委員会は、このテーマを、教育課程の変化、教員研修施策、国際動向の紹介によって論議してみたいと思います。

★司会者・発表者の打ち合わせ

当日の9時より4号館421教室において行います。